

◎くらしよし倉吉 スカイアッププラン（２）

くらよしアイズ・倉吉自民共同 藤井隆弘

会派くらよしアイズ・倉吉自民共同の藤井隆弘です。

私は、これまで「住みたい、帰りたい、行ってみたいまち倉吉」をテーマに質問をしてきました。倉吉市が震災前以上に元気で暮らしやすいまちとなることを願い、「震災からの復旧・復興、子育て・教育のまちづくり、安心・安全なまちづくり、元気なまちづくり、魅力あふれるまちづくり、開かれた市政の6つの柱からなる「スカイアッププラン」を立てました。今日は、そのうちの「安心・安全なまちづくり」「元気なまちづくり」など3つの観点から質問をします。

安心・安全なまちづくりです。はじめに、地域防災計画の見直しについてお聞きします。

今年の7月、福岡県朝倉市などで多くの死者が出た九州北部豪雨は記憶に新しいところです。朝倉市では、1時間雨量が100ミリを超え、24時間雨量は過去最高の545.5ミリに達しました。原因は、積乱雲が一直線に連なる「線状降水帯」によるものでした。近年、地球温暖化のせいか日本においても豪雨の発生が増えています。

線状降水帯について専門家は、「発生場所は、九州、四国に多いが北海道から沖縄まで全国におよぶ。時間は梅雨時から秋が目立つが、条件が揃えばいつでもどこでも起きる可能性がある」と述べています。このことを踏まえ、質問をします。

7月12日付の新聞に、「倉吉市が見直し、「千年に一度」の洪水想定」という見出しで地域防災計画の修正についての記事があり、議員懇談会でも説明を受けたところです。

①倉吉市地域防災計画の見直しの経過と主なポイントについてお聞きします。

○避難所についてです。

災害が発生した時、一番大切なのは命を守ることです。そのために避難所が必要となります。折角の機会ですので、改めて避難所について、言葉の整理も含めてお聞きします。

②倉吉市の「指定避難所、指定緊急避難所」について説明をお願いします。また、それ以外にもその他の避難所（第1次避難所、自主避難所、福祉避難所など）があると思いますが、このことについてもふれたいだけですか。

また、避難所は市の職員が直接管理している場所だけでなく、学校や県立や民間の施設等も避難所となります。

③避難所の開設にあたっての市と施設の管理者などとの連携についてお聞きします。

○台風5号への対応についてです。

台風5号は、発生から20日間にもわたり台風として迷走し、日本でも人的被害や住宅への被害がありました。鳥取県にも8月7日から8日にかけて影響があり、市としても対応されたところですが、4点質問します。

1点目、④私は、市の防災メールに加入していますが、台風5号に関して合計24回の情報提供がありました。かなりの数だと思いますが、防災メール・防災無線放送などの情報提供について、どのような(基準など)にして出されているのですか。

2点目、⑤自主避難所についてです。

台風第5号の接近に伴って避難所の情報提供がありました。防災メールです。

8月7日 13:00「台風第5号の接近に伴う自主避難所の開設について、お知らせします。台風第5号の接近により、本日8月7日(月)の午後から、雨、風ともに強まる見込みです。不安を感じ、自主的に避難されたい方は、自主避難所を開設しますので、防災安全課へご連絡ください。尚、この放送は避難勧告ではありません。」

県内でも同様に自主避難所を開設した自治体（鳥取市、近隣の中部4町など）がありました。倉吉市以外は自主避難所の場所を決めて情報提供されていました。倉吉市だけが、このような情報提供をされたのはどうしてですか。

3点目、⑥指定避難所についてです。これも防災メールです。

8月8日 1:19「避難準備・高齢者等避難開始についてお知らせします。現在、天神川小田観測所及び竹田橋観測所で氾濫注意水位

を超えたため、氾濫注意情報が発表されました。それに伴い、上北条地区・上井地区・西郷地区・上灘地区に避難準備・高齢者等避難開始を発令しました。今後、河川の水位が上昇する恐れがありますので、最新の気象情報に注意し、避難に時間を要する方は、避難の準備を始めてください。また、上北条小学校・河北小学校・河北中学校・西郷小学校・上灘小学校を避難所として開設します。ただし、深夜ですので、無理な避難はせず、自宅の2階へ移動する等、安全にも心がけてください。詳しくは、倉吉市役所防災安全課にご連絡ください。」

真夜中で、該当地区の方々の中には不安だったり、どうしてよいか混乱された方、逆に、情報提供に気がつかなかった方もあったようです。市としてどのような判断で、指定避難所の開設を決められたのですか。また、開設にあたって、防災メール・防災無線などの情報提供の他、どのようなことをされたのですか。

4点目、⑦倉吉市地域防災計画の見直し(暫定修正)をされてから初めての対応だったと思いますが、今回の台風第5号に対する対応について市としてどのように評価されていますか。

2 元気なまちづくりについてです。

「元気なまち」といってもいろいろな考え方があると思います。一つには人、人口によるパワーです。総務省から2014年から3年連続で日本人の人口が増えたまちの紹介が7月6日付の新聞に出ていました。住宅支援、医療費の無償化等10の自治体の例が出ていました。自治体の実情が違いますが、参考に出来る点もあると思います。もし、この記事に関連してお考えがあればお願いします。

元気なまちづくりを推進するためには、自然増(出産)、社会増(移住定住、企業誘致などによる雇用増)など人口を増やすことが考えられます。また、観光、商業、飲食業などを活発にして交流人口を増やし、お金を稼ぐ「元気なまち」づくりもあります。これからいくつかの視点で質問をしていきます。

はじめに、産業振興・働き場の確保です。

①8月3日の新聞に、「新規雇用300人達成 倉吉市、3年前倒し

で」という記事がありました。企業誘致による新規雇用の状況について、もう少し教えていただけますか。また、すでにある市内企業の規模拡大による雇用の状況はどうなっていますか。

・先を見通した地域ぐるみでの産業振興です。

補助制度の充実や安心安全な地域というセールスポイントもあり、企業誘致に関しては一定の成果が出ています。しかし、財政的な負担もあり、以前のような手厚い補助ということは難しくなっています。また、雇用のミスマッチや人材不足と行ったことも発生しています。今後は、企業誘致のあり方、地場産業の育成、地域ぐるみでの産業振興・雇用の確保が求められています。

6月に視察に行った岩手県北上市、花巻市の事例を簡単に紹介します。北上市・花巻市とも人口約10万人、東北新幹線、花巻空港、高速道路等の交通、土地の広さなど恵まれた条件はあるものの、かつては主産業である農業以外に働き場所は少なく長男以外は東京などへ就職・出稼ぎに出かけていました。

働き場の確保・工場誘致のため、工業高校の誘致、企業誘致のための合併、市長自らのトップセールス（北上市）、大手通信機器メーカーの工場疎開、工業団地の整備（花巻市）等で一定の成果を上げました。しかし、中国などの台頭、若者のものづくり産業離れ、誘致企業と地場企業との経営感覚や技術力などの差が問題となってきました。

そのため、企業の研究開発・イノベーションの推進、岩手大学などの協力（産学官連携）、小学生からの「ものづくり人材育成」強化等に取り組んでいます。技術支援センター（北上市）、起業化支援センター・賃貸工場（花巻市）等によるスキルアップ等、先を見通した着実な取組に感心しました。また、企業フォローアップ（誘致するだけでなく、出て行かれないように生活面・環境面までフォローアップする）ことも大切にしていました。

また、資料としてお渡ししている「バイオ技術の未来」シリーズで日本海新聞に載っていた山形県鶴岡市の例なども参考になります。そこでお聞きします。

②倉吉市では、先を見通した地域ぐるみでの産業振興の取組についてどのようなことを行っていますか。また、産業振興等「まち」として生き残り、さらに発展していくための取組に対する市長の考えをお聞きします。

・まちの賑わいということについてです。「元気なまち」づくりは、企業誘致だけではありません。観光、商業、飲食業などの賑わいでお金を稼ぐことも元気なまちづくりにつながります。

まちの賑わいという観点から質問します。中心市街地の活性化です。はじめに、③倉吉市における中心市街地活性化の動きについて、現在進んでいる具体的な動きを教えてください。

・行政の役割に関連してです。

まちづくりに関わって大切にしたいのは人です。倉吉市中心市街地活性化協議会タウンマネージャーの田栗進氏の「日本で一番熱いまち目指す」という記事が7月3日の新聞に載っていました。動きの中から化学反応を起こし、日本一熱いまちにしたいということ内容でした。田栗さんに限らず、市内には元気な町づくりにつながる動きや思いを持った人がいます。

例えば、私の住んでいる上井地区です。倉吉駅周辺にもたくさんの商店や飲食店があります。鳥取看護大学・鳥取短期大学とあわせて、約1000人の学生や先生たちが通っています。それに加え、高校生や多くの事業所などがあり、通勤・通学客など1日5000人の乗降客がある倉吉駅です。しかし、残念ながらこのことを十分に生かし切れていません。個々の力や魅力をつけることが大切ですが、まち・地域としての魅力がなければ人は集まりません。上井の旭地区で開催される夏祭りには地区住民だけでなく、商店や企業などから多くの協力もいただいていると聞きました。元気なまちづくりには様々な人の協力・アイデアを集め、化学反応を起こしていくことです。

行政の役割としては、これまで以上に地域・事業所・商工会・学校等を結びつけたり、まちを元気にするための仕掛けづくりをすることが大切です。お聞きします。

④元気なまちづくりに関わって倉吉市として現在行っていること、今後行っていきたいということがあればお願いします。

3 空き家対策

昨日、市長は答弁の中で、倉吉市の重点課題、今後の取組の中心として2点挙げられました。「人口減対策」と「防災、安心・安全なまちづくり」です。私の質問もこのことに関連しており、

同じ思いを持っています。

さて、今議会で一番多いテーマは「空き家対策」です。多くの議員が市内を歩きながら必要性を感じているところです。

通告していました、空き家の実態、「空き家対策計画」策定については、これまでの質問で理解しましたので答弁は結構です。

私からは、空き家対策に関連して、空き家（空き地）の利活用についてお聞きします。

空き家の問題については、3月議会の折に空き家の実態・空き家のニーズ、ニーズがあった場合の市としてのマッチングについてお聞きしています。空き家バンク、シェアハウス、日本版CCRCへの活用といったやりとりを行いました。

空き家・空き地問題は、税制上の問題、相続の問題、増え続ける空き家処理による行政の負担など全国レベルで今後議論されなければならない大きな問題だと思います。また、個人資産に対して行政がどこまで関われるかに行った難しい判断もあります。ただ、行政にとっても、市民一人一人に関わる問題です。現在は危険空き家が迷惑といった段階でも、いつ自分がその立場になるかわかりません。近所は空き家だらけ、地域として成り立たなくなるといった危険性もはらんでいます。

空き家・空き地の利活用については、空き家化の予防とか再活用に努めるといったレベルからより具体的な検討が必要です。税制、法律の整理などが行われることが前提となることもあります。また、土地や家は財産であるとともに維持管理をしなければならないといったこととの兼ね合いもあります。これらのことも踏まえて質問・提言します。

○空き家の利活用（シェアハウス、町屋、有効な施設など）について一層研究を進める

○所有者などからの空き家・空き地に対する相談にこれまで以上に、出来るだけ応じる

○今ある市有地・市の施設等を有効な活用といった点で検討する以上の点等について、行政としてしっかりと行っていかなければならないと思いますが如何お考えですか。

追加

昨日からの他の議員の質問、私の質問を通して、市長の思いは分かりました。ただ1つ気になることがあります。それは、倉吉の

立ち位置をどう捉えるかということです。

昨日、倉吉市の現状のプラス面として、「周辺から多くの買い物客が市に来ていただいている」という答弁がありました。確かによいことにも思えます。

ただ、別のとらえ方もあると考えます。昼と夜の人口比率が県内の他の3市は100%前後であるのに対し、倉吉市は112%近くあり、通学・通勤は倉吉、住まいは他市町という実態があります。企業誘致、県立美術館誘致、観光面の充実など元気な町づくりを進め、鳥取県中部地区の中核として発展することと、あわせて、住環境の充実、周辺に住まいを構えられた理由などを検証して市内に人口を増やす手立てを具体的に考えていくことが大切です。

このことは通告はしていませんが、何か答弁がありましたらお願いします。

認定第1号 平成28年度倉吉市一般会計歳入歳出決算の認定

2款総務費

○1項総務管理費 6目財産管理費

「ふるさと納税」 決算額263,370(千円)

事業の目的・意図は、「財源の確保と地域産品を全国発信するため、ふるさと納税を推進する。贈答品をさらに充実させ、地域産品のPRと地域産業活性化を図る」とあります。

目標にもあるように、ふるさと納税の金額も職員の努力もあり、財源確保の重要なものとなっています。はじめに、過去、3年程度で結構ですから、実績と上位品目がどのようなものなのか教えてください。

総務省が、4月1日付で過熱するふるさと納税の返礼品競争を抑制するため、総務大臣名で寄附額に対する返礼品の価格割合を「3割以下」とするなどを具体的に示したガイドラインとも言える通知を全国の都道府県知事宛てに出しました。これを受けて、通知に従い見直す自治体や、独自の方針を打ち出し継続することを表明した自治体もあるといわれています。

倉吉市においては、このことに関してどのような影響があった

のですか。あったとするとどのように対応されているのですか。
また、本年度の現状と見通しを最後にお聞きしたいと思います。

6 款農林水産業費

○ 1 項農業費 5 目農地費 決算額「地籍調査」 35, 235 (千円)

事業の目的は、「地積への明確化を図るため、国土調査法に基づき一筆毎の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、精度の高い地図及び簿冊を作成するもの」とあります。

地籍調査という言葉は聞くのですが、目的と内容についてもう少し分かりやすく教えて下さい。どのようなやり方でやっているのか、その効果等について、説明を加えていただけますか。

事業の成果を見ると、平成28年度の測量、現地調査は西郷地区の0.52平方km、図面及び簿冊の作成、閲覧も西郷地区の0.28平方kmとなっています。

倉吉市における地籍調査のこれまでの実績について、どのような計画、順番で行ってきたのですか、また、今後の計画等はどうなっているのかについて説明をお願いします。

7 款商工費

○ 1 項商工費 2 目商工業振興費

「商店街等活性化」 決算額 2, 808 (千円)

事業の目的は、「商店街の活性化を図り、賑わいのあるまちづくりのため下記の事業を実施する。」とあり、チャレンジショップ設置運営事業、賑わいのある商店街づくり事業費補助金、中心市街地賑わい創出事業費補助金の3つの事業があります。

中心市街地賑わい創出事業費補助金については、「あきない中心倉」活動支援とあるので対象地域などわかりますが、他の2つの事業について事業内容や実績などについて説明をお願いします。

チャレンジショップについては倉吉市が倉吉商工会議所に委託していること、賑わいのある商店街づくり事業については、倉吉市補助金による事業だということはいくことはわかります。

いずれも空き店舗等を活用して商いをはじめの人への応援事業で

あると思います。チャレンジショップに関しては地域の指定はなく、賑わいのある商店街づくりについては指定があります。その他の内容についても似ている点もあるように思います。最終予算6630千円に対して決算は2808千円と40%余りの執行なので「賑わいのあるまちづくり」という点でもっとしっかり使ってもらえる事業に出来たらとも考えます。このあたりについて、もう一度説明を加えていただけますか。

議案第83号 平成29年度倉吉市一般会計補正予算(第4号)

2 款 総務費

○ 1 項 総務管理費 2 目 人事管理費

「人事管理」 補正額 333(千円)

補正理由は、「国が進める働き方改革の動向等を踏まえ、職員の労務管理の適正を期すため、各職場に職員勤務管理システム(タイムレコーダー)を設置するもの。」とあります。今回の補正は、保育所、図書館など10カ所のタイムレコーダーを設置することで、これをもって全ての正職員の勤務時間の把握が出来るようになるということです。

このタイムレコーダー(管理システム)は、具体的にどのように使うのですか、このシステムの仕組みについて教えてください。

働き方改革という言葉も補正理由の中にありましたが、タイムレコーダーを使うことで、業務改善・働き方にどのような効果が期待できるのですか。具体的に教えてください。

ハード面でこれまで以上に職員の勤務実態の把握が出来るようになったことは理解できました。しかし、最終的に働き方改革は人、ソフト面が大切だと考えます。管理職の部下職員への目配り・気配り、働きやすい職場づくり、庁風改革こそが大切だと思いますが、その辺のところについて統括される総務部長の思い、決意をお聞きしたいと思えます。